

平成28年度

社会福祉法人 阿闍羅会

障害福祉サービス事業所

【生活介護事業】

【就労支援B型事業】

ワークキャンパス大鰐

事業報告

平成29年5月15日

住 所：青森県南津軽郡大鰐町大字三ツ目内

字水沢出口117番1

電 話：0172-48-2426

F A X：0172-48-2483

〈Ⅰ〉 支援内容		
1 生活支援	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 生活介護	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3 作業支援		
(1) しいたけ事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2) 花・野菜事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
4 保健支援	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
5 余暇活動支援		
(1) 行事等	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
(2) 利用者会活動		
①利用者会全体会	・・・・・・・・	8
②行事委員会	・・・・・・・・	9
③お茶委員会	・・・・・・・・	9
④広報委員会	・・・・・・・・	9
⑤美化委員会	・・・・・・・・	9
〈Ⅱ〉 給食	・・・・・・・・・・・・・・・・	10
〈Ⅲ〉 防災	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
〈Ⅳ〉 広報	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
〈Ⅴ〉 研修及び会議		
1 会議開催状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
2 研修参加状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	14
〈Ⅵ〉 苦情解決	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
〈Ⅶ〉 地域生活支援	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
〈Ⅷ〉 外商	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
〈Ⅸ〉 安全巡視（虐待防止委員会）	・・・・・・・・・・・・・・・・	19

〈 I 〉 支援内容

〈 I 〉 - 1 生活支援【生活介護・就労継続支援B型 共通】

担当：中平恵美

日常生活に必要な、基本的生活習慣の自立を目的とした。

自立性を養い、毎日の積み重ねによって望ましい習慣の形成や、社会生活の態度・性格の社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭におき、保護者や関係機関と情報共有しながら支援を行った。

(1) 支援内容

①基本的習慣の定着

あいさつ、時間を守る、排泄、生理の手当て、入浴、衣類の着脱、衣類の調整、洗濯、洗濯した衣類のたたみ方、歯磨き、手洗い、うがい、指手のアルコール消毒、食事とその後始末、整理整頓、掃除などの支援を行った。

②コミュニケーションを図るための支援

- ・言語と受容と表出に関する支援を行った。
- ・パニックに対する本人及び周りの利用者への理解に関する支援を行った。
- ・コミュニケーション手段の選択と活用に関する支援を行った。

③行動に支障がある利用者に対する支援

- ・精神面及び身体面に関する理解とそれに関する支援を行った。
- ・強度行動障害への理解とそれに関する支援を行った。
- ・自閉症に対する理解とそれに関する支援を行った。

④日常生活を送る為に安全な環境作りの支援

- ・奇数月に職員が安全巡視を行って危険な所を確認し改善した。
- ・作業場の整理整頓をし足場等に危険がないように配慮した。
- ・行事活動及び休憩時間等に怪我をしないように注意した。
- ・危険と思われる物（刃物、工具など）は職員室等で管理をした。

〈I〉 - 2 生活介護

担当：中平恵美、中畑幸、竹内友紀

【年間作業収入 488,875円】

事業目的にあげるサービスを基にした内容のプログラムに沿って、生産活動、健康維持活動、余暇活動や同設される就労支援B型を利用されている方々との交流も大切にし、変化に富んだ楽しい時間を過ごしていただけるような工夫をし、個々のニーズに応じながら支援を行ってきた。次年度も利用者のニーズを伺いながら、利用者が楽しく喜びを感じていただき、利用者の尊敬を大切にし、可能性を引き出して自立を目指したい。

利用者の体調・健康管理は毎月第1火曜日午後に医師の受診を実施した。医師の受診日以外は看護師によるバイタル測定を週2回実施し、体調の異変があった時はその都度対応してきた。次年度は今年度の反省点(バイタルを行う曜日や休んでいる利用者への配慮等)を含め、家族と医師とも連携しながら利用者の体調健康管理を徹底していく。

〈I〉 - 3 作業支援

(1) しいたけ事業

担当：植田善久

【年間作業収入 11,817,612円】

栽培菌種	入荷菌床数	入荷時期	発生期間
北研73号	3300菌床(A)	平成28年3月	平成28年5月～平成28年11月
北研607号	5000菌床(D)	平成28年6月	平成28年9月～平成29年4月
北研705号	6000菌床(C)	平成28年7月	平成28年11月～平成29年6月
北研607号	4000菌床(B)	平成29年1月	平成29年4月～平成29年10月

平成28年度 発生菌床合計数 18300菌床

平成29年度 入荷菌床合計数 18000菌床

○内容及び次年度への課題

平成28年度のしいたけ売り上げ金額は、1菌床あたり645円と昨年度より48円ほ

ど上回った。

今年度は、前年度からのD、Cハウスのカビ・ダニ被害のため4・5月はお客様にしいたけを出すことがほとんど出来ず、売り上げは非常に低かった。また、Bハウスの湿度管理が適切でなかったため菌床玉にカビが回ってしまい、5・6月はカビ対策に追われた。6月後半からカビも収まり、安心してお客様にしいたけを出すことが出来ている。

新しい試みとしてまず、5月にかねてから購入を希望していたマッシュクリーンを導入したことにより、しいたけへの発生刺激が効率的になった。

また、いとくの値上げ・どってん菜果との新規契約などの他、大鰐町役場、大鰐小学校、大鰐中学校、社協などまめに訪問販売に行ったことにより売り上げが前年度を大きく上回った。

特に11月の売り上げは161万と過去最高を大きく上回った。いつもは注文が殺到するため個数に制限を設けていた年末時期もしいたけを安定して生産が出来た為、注文を断らずに出すことが出来た。

また、サンマッシュの全国大会に今年度も出品したが、今年度は残念ながら入賞を逃す結果になってしまった。この事実を重く受け止め、金賞が取れるよう今まで以上にしいたけの品質にこだわっていききたい。

次年度への課題としては、マッシュクリーンの使用による電気料金の増加・ハウスの老朽化による灯油代の増加をいかに防ぐか。マッシュクリーンの使用を最小限にとどめ、燃料費を抑えていききたい。

また、ハウス内の温度管理と湿度管理を徹底し、菌床玉にカビが発生しないように努めたい。

マッシュクリーンの購入に伴い菌床玉への発生刺激の方法が変わり、利用者の負担が若干増加した。そのため、利用者の負担を軽減できるような作業方法を考えていききたい。利用者も高齢化しているため、菌床入荷の際の作業のペースが少しずつ落ちてきている。利用者の負担軽減のためにも入荷の際に使用出来るプラコンレールの購入を提案したい。

次年度も引き続き近隣へこまめにしいたけを販売し、販路の拡大を図りたい。出来れば弘前市のスーパーなどの契約を結び、しいたけの売り上げが伸びるようにしていきたい。

(2) 花・野菜事業

担当：中畑 幸

【年間作業収入 108,380円】 ※いとく分の収入は、しいたけ事業に含まれています。

・ 広野バッテイングセンター花壇定植、鉢植え納品	
広野バッテイングセンター	36,000円
大鰐中学校	10,500円
小計	46,500円
・ つつじ祭り	8,160円
・ オクラ・野菜販売	
鰐カム	11,390円
一般販売	42,330円
小計	53,720円

○内容及び次年度への課題

花の定植や鉢植え納品は毎年、変わらず依頼があるので今後も取引先を大切にしていきたい。つつじ祭りでの販売は出店するワークランド茜さんの花と被らないように考慮していきたい。

野菜は大々的にはやらないが、管理できる量を作り、作った物は販売出来る物は販売し、給食で使って貰ったりしたい。

〈I〉 - 4 保健支援

(1) 保健指導年間実施日

- ・定期健康診断（小山内医院で実施）

5 / 1 6 ~ 5 / 3 0 ・ 1 0 / 2 5

- ・身体測定（体温・血圧・体重）

4 / 1 4 ・ 5 / 9 ・ 6 / 1 4 ・ 7 / 4 ・ 8 / 8

9 / 5 ・ 1 0 / 6 ・ 1 1 / 7 ・ 1 2 / 5 ・ 1 / 1 6

2 / 6 ・ 3 / 6

- ・平成28年1月から生活介護利用者対処で、毎月第1火曜日の午後に小山内先生の回診を実施している。

(2) 保健日誌からのまとめと次年度の課題・方向付け

○事故や怪我などはなかった。作業中の怪我を防止するためにも、作業場を含む周辺の整理整頓をし、危険がないよう安全な環境作りと支援をしていく。また、利用者の多くは、不調を訴えたり、健康に気を配ることや衣類調整が苦手なので、利用者からの細かなサインや変化を見逃さず早く気付いて、怪我や病気を未然に防げるよう支援していく。

○7月中旬から9月上旬まで、熱中症予防対策として利用者全員にクールネックとペットボトル1本を用意し、こまめに水分補給と適度な休憩を取りながら作業を行った。その結果、熱中症や体調不良者はいなかった。今後も利用者の様子を注意深く観察しながら、熱中症予防していく。

○利用者・職員全員に手洗い、うがい、手指のアルコール消毒を徹底し感染症予防に努めた。また、インフルエンザやノロウイルスが流行する前に自宅からのマスクの装着を呼び掛けて、みんなでインフルエンザの予防に努めた。その結果、施設内でのインフルエンザ感染者はいなかった。インフルエンザ感染対策として、感染予防のためインフルエンザ流行の前にインフルエンザワクチン接種の呼び掛けをし重症化を防ぐ。流行時期には流行状況を把握しておく。喉の傷み、鼻水、咳、発熱など体調に変化があった場合には、家族の方と連絡を密にして、インフルエンザ感染を未然に防ぐ事に努めていく。

○毎週水曜日(男子)・火曜日と木曜日(女子)生活介護利用者の入浴を実施している。状況に応じて生活介護利用者以外でも入浴を開放している。入浴した後は洗濯指導支援も行っている。自分の衣類を洗濯、干す、たたむ事を指導支援して本人の自立へと繋げている。今後も状況を見ながら、生活介護の方以外も危険のないよう入浴を行い、洗濯指導支援を継続していく。また、入浴は利用者の健康維持、清潔保持を目的とするだけでなく身体の異常の発見にも繋がることもある。入浴時は身体の観察なども行っていく。

入浴の目的は様々あり利用者の障害に応じて、危険がないよう安全な方法で気持ち良く入浴支援を行っていく。

○5月に女子利用者5名の方が大鰐町の婦人科健診を実施している。婦人科健診の結果は異常なかった。病気など未然に防ぐためにも、健診や適度な運動や食事の取り方について、家族や医師、キャンパスの看護師や栄養士と連携を密にしながら指導し、体調管理に留意していく。

○毎月第1火曜日の午後1時より、小山内医院の先生がキャンパスに来所して、生活介護利用者対象に回診が行われている。他の利用者については本人から希望があった時は診察を行っている。利用者の多くは不調を上手く訴える事が出来ない方もいる。先生の回診で、不調を早期に発見し対応出来るようにしていきたい。

(3) 利用者の健康状態について

対象者 4名 ※詳細は別紙参照

〈I〉 - 5 余暇活動支援

(1) 行事等

実施日	行事名	実施場所
平成28年4月9日(土)	三者面談	ワークキャンパス大鰐
4月26日(土)	遠足	弘前りんご公園
5月7日(土)	遠足	山内丸山遺跡と新青森駅
5月21日(土)	調理学習	ワークキャンパス大鰐
6月4日(土)	お菓子作り	ワークキャンパス大鰐
	ソフトボール練習	森山河川敷グラウンド
6月18日(土)	親子交流会	弥生いこいの広場
7月9日(日)	西地区レクリエーション大会	五所川原遺影球場・菊ヶ丘公園
7月23日(土)	焼き肉レク	ワークキャンパス大鰐
8月6日(土)	流しそうめん	ワークキャンパス大鰐
8月28日(日)	青森県障害者スポーツ大会	青森県総合陸上競技場
9月11日(土)	ワークまつり	ワークキャンパス大鰐
9月23日～24日(土・日)	お泊まりレク	青森県立梵珠少年自然の家
10月1日(土)	買い物レク	さくら野弘前店
10月15日(土)	三者面談	ワークキャンパス大鰐
10月29日(土)	イカ焼き	ワークキャンパス大鰐
11月19日(土)	カラオケ	カラオケ合衆国 弘前城東店
11月26日(土)	ボウリング	弘前ファミリーボウル
12月10日(土)	利用者忘年会	湯瀬ホテル
12月17日(土)	温泉レク	鰐 come
平成29年1月10日(土)	室内レク	大鰐小学校体育館
2月18日(土)	ケーキ作り	ワークキャンパス大鰐
3月28日(土)	手巻き寿司	ワークキャンパス大鰐

○次年度への課題・方向付け

今年度は西地区レクリエーション大会当日が雨の為、実施はしたが途中で終了し施設へ戻った、雨の中ソフトを行ったので、利用者の体調が心配された。今後このような時は体調を考慮し棄権する事も視野に入れていこうと思った。

(2) 利用者会活動

①利用者会全体会

担当：植田善久

実施日	主な内容
平成27年 4月 4日(月)	<ul style="list-style-type: none">・チョコレート作りの感想・お鍋の感想・お菓子作りの感想・レクの感想・三者面談について・2月3月頑張った人
6月 2日(木)	<ul style="list-style-type: none">・三者面談の感想・りんご講演の感想・遠足の感想・ソフトボール・レクの感想・4月5月頑張った人・ワークまつりの出し物について
8月 1日(月)	<ul style="list-style-type: none">・ソフトボール・レクの感想・親子交流会の感想・西レクの感想・焼き肉の感想・流しそうめんについて・6月7月頑張った人
10月 4日(火)	<ul style="list-style-type: none">・流しそうめんの感想・県スポの感想・ワークまつりの感想・お泊まり会の感想・三者面談について・8月9月頑張った人
12月 1日(木)	<ul style="list-style-type: none">・三者面談の感想・イカ焼きレクの感想・カラオケの感想・ボウリングの感想・忘年会について・10月11月頑張った人
平成28年 2月 6日(月)	<ul style="list-style-type: none">・忘年会の感想・温泉レクの感想・新年会の感想・室内レクの感想・調理レクについて・12月1月頑張った人

②行事委員会

担当：中平恵美

- ・平成28年 4月11日（月）12：30～12：40 委員会発足会議
- ・平成28年 5月 2日（月）12：30～12：40 遠足・忘年会行き先会議
- ・平成27年 8月15日（月）12：30～12：40 今後の行事の行き先会議
- ・平成28年11月21日（月）15：10～15：30 忘年会進行担当決め
- ・行事委員会は委員会発足会議で、それぞれの役割を決めて一年間活動しましたが、きちんと自分の役割を理解して積極的に動いていた。毎回、行事委員会の会議は、それぞれに行きたい場所ややりたいゲームなど積極的に意見を述べる事が出来ていた。今回の忘年会は予定していたビンゴゲームの時間がなくて出来なかった事が残念だった。
- ・行事委員会を通して、それぞれ声を掛け合って協力し協調性を養うことが出来た。

③お茶委員会

担当：竹内友紀

- ・毎月第3週目に委員会で次月のおやつのお話し合いを計画した。
- ・おやつのお知らせの放送を順番に行った。放送が苦手な方でもメンバーに協力してもらいながら行う事が出来た。
- ・委員会のメンバーで買い出しに行き、話し合ったものが無かった時にはその場で別なものに変更し、買い出しをすることが出来た。
- ・毎日のお茶委員会の活動として休憩時のお茶出しと片付けを協力して行うことで協調性を養う事が出来た。

④広報委員会

担当：小林 光

- ・毎月月末に広報委員会を開催し、次月の行事と作業予定を記載と掲示した。
- ・掲示物の張り替え等を行った。

（広報委員会活動時間 12：30～12：50）

⑤美化委員会

担当：中畑 幸

- ・委員会の活動を通して、責任感や協調性を養った。
- ・毎月1回、掃除強化場所を決め、計画を立て掲示した。
- ・プランター定植後、曜日を決めて水やりを行った。（6月～10月）
- ・年3回、大掃除の日を決め、大掃除を行った。

〈Ⅱ〉 給食

担当：山口美香

(1) 平成28年度 給食指導

・対象者 男 3名 女 6名 計 9名

指導内容	具体的指導方法	対象者
咀嚼・嚥下の補助	①主菜・副菜～刻み食。	女2名 男3名
糖尿病対策	①食事療法。	女1名
肥満対策	①主食の量を軽くする。 ②主菜・副菜～刻み食。	女2名
食事の補助	①フォークの使用。	女1名

※全体的に早食い傾向なので、全利用者に対して落ち着いてゆっくりよく噛んで食べるように声かけをしている。

(2) 平成28年度 年間行事食実施表

月	行事	献立名	実施日	備考
7	七夕	冷やしうどん	7月 7日	
9	十五夜	栗ごはん	9月 14日	
10	いも煮会	米沢風いも煮	10月 4日	
12	冬至	かぼちやのいところ煮	12月 20日	
12	クリスマス	コーンライス、トマトクリームシチュー グリーンサラダ、ゼリー(イチゴミルク)	12月 21日	
3	ひなまつり	ちらし寿司	3月 3日	

(3) 平成28年度 郷土食 年2回 実施。

(4) 平成28年度 嗜好調査 3ヶ月に1回 計4回 実施。

(5) 平成28年度 給食だより 3ヶ月に1回 計4回 発行。

(6) まとめ・反省

- ・行事食の際は、季節感を感じながら楽しんで食べていたと思う。
- ・今年度も行事食・嗜好調査・給食だよりを実施する事が出来たので、来年度も維持していきたい。皆さんが興味がわく給食だよりを発行していきたい。
- ・来年度も利用者の楽しみになるような新メニューを出していきたい。
- ・郷土食を2回しか出すことができなかったので、来年度はもっと出していきたい。
- ・かさ増し食材をもっと利用して、低カロリーでたくさん食べれるメニューを増やしていきたい。
- ・平成29年度も健康的で、利用者に喜ばれる給食作りをしていくということを大切にしていきたい。

〈Ⅲ〉 防災

防火管理者：植田善久

(1) 実施状況

①ワークキャンパス大鱈

月日	訓練状態	訓練時間	想定	震度・出火場所	避難場所	時間
5 / 24	部分訓練	14:15 ~ 14:30	地震	震度5	駐車場	2分22秒
9 / 27	総合訓練	11:20 ~ 11:30	火災	相談室	駐車場	2分43秒
3 / 9	部分訓練	11:15 ~ 11:30	火災	女子更衣室	駐車場	2分41秒

②グループホームつつじ

月日	訓練状態	訓練時間	想定	震度・出火場所	避難場所	時間
6 / 7	部分訓練	17:30 ~ 18:00	火災	居室4	玄関前	2分16秒
9 / 13	部分訓練	18:30 ~ 19:00	火災	居室1	玄関前	2分26秒

③グループホームあやめ

月日	訓練状態	訓練時間	想定	震度・出火場所	避難場所	時間
7 / 6	部分訓練	19:00 ~ 19:00	火災	居室2	玄関前	2分08秒
10 / 12	部分訓練	18:00 ~ 18:30	火災	居室6	玄関前	2分31秒

- ・点呼時返事を大きくするように（利用者）
- ・おはしの徹底（押さない・走らない・しゃべらない）
- ・消化・誘導・放送の分担を明確にして責務を果たした。（職員）
- ・10月の総合訓練時、消火器を実際に使用して消火訓練を行なった。

(2) 次年度への課題、方向付け

- ・全職員が消火器の取り扱い方を覚えるようにしたい。
- ・放送機器の取り扱いと順序をしっかりと覚える。
- ・グループホームの火災報知器の取り扱い方の確認。

〈Ⅳ〉 広報

(1) 広報誌「阿闍羅」 担当：佐藤直幸、山内彩子、田中大生

①内容

・平成28年度は、予定していた広報誌を発行することが出来なかった。

②次年度への課題

平成29年度は、新たな担当に引き継ぎ、発行するようにする。

(2) ホームページ 担当：中畑幸、鎌田健司、田中大生

①内容

・いくつかの行事活動をアップしたが、平成28年度ほとんど更新できていない。

②次年度への課題

平成28年度中に作らなければいけなかった、津軽地区障害者就労継続支援事業所共同受注窓口としてのサイトを作ることが出来ず、平成29年度は必ず作成する。
また、ホームページ更新ができる職員の育成をする。

阿闍羅会公式ホームページURL

<http://ajarakai.jp/>

阿闍羅会フェイスブックURL

<https://www.facebook.com/ajarakai>

(3) その他の広報 担当：竹内友紀、中嶋綾子、鎌田健司

①大鰐町民文化祭への参加

平成28年11月3日(木)～6日(日)に大鰐町中央公民館にて開催された、大鰐町文化祭に作品展示している。

②地域のまつり等へ参加

外商事業を中心にし、施設紹介も含め、生産物のアピール及び展示即売する形で参加した。また、当法人だけではなく、近隣の同様な施設の物についてもPR及び販売をしている。

参加状況

- | | |
|-------------|------------|
| ・大鰐温泉つつじまつり | ・鰐come祭り |
| ・各種施設のまつり | ・まるごと大鰐商人市 |
| ・農福連携マルシェ | など |

〈V〉 研修及び会議

〈V〉 - 1 会議開催状況

(1) 事業会議

担当：植田善久、中嶋綾子

開催日	構成員	会議内容
3 / 15、4 / 21、5 / 19 6 / 16、7 / 21、8 / 18 9 / 8、10 / 20、11 / 17 12 / 15、1 / 19、2 / 16	阿闍羅会 全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事日程 ・ 作業予定 ・ 収支報告 ・ 職員体制について ・ 事業展開について など

(2) 給食会議

担当：山口美香

開催日	構成員	会議内容
3 / 15、4 / 21、5 / 19 6 / 16、7 / 21、8 / 18 9 / 8、10 / 20、11 / 17 12 / 15、1 / 19、2 / 16	阿闍羅会 全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食業務、内容の協議 ・ 思考調査の検討 ・ 調理、味付けの工夫等の検討 ・ 利用者給食指導の内容報告と検討

(3) ケース会議

担当：中平恵美

開催日	構成員	会議内容
4月14日(木)	全職員	めだかの会報告、研修報告、支援計画 他
5月13日(金)		ケースカンファレンス、春の健康診断 他
6月 2日(木)		めだかの会報告、ケースカンファレンス 他
7月 7日(木)		ケースカンファレンス、ヒヤリハット 他
8月 4日(木)		めだかの会報告、ケースカンファレンス、現場体験実習について、ケース記録 他
9月 1日(木)		ケースカンファレンス、研修報告 他
10月 6日(木)		めだかの会報告、現場体験実習について、研修報告、モニタリング、個別能力評価、支援計画 他
11月 5日(土)		研修報告、三者面談報告、支援計画 他
12月 1日(木)		めだかの会報告、ケースカンファレンス、利用者行事について 他
1月 5日(木)		ケースカンファレンス、研修報告、事業計画作成について 他
2月 2日(水)		ケースカンファレンス、工賃評価について、書類整理について 他
3月 2日(木)		めだかの会報告、ケースカンファレンス研修報告、三者面談について 他
3月23日(木)		工賃評価について、モニタリングについて 他

〈Ⅴ〉 - 2 研修等参加（実施）状況

実施日	研修名	研修場所	参加者
5月11日	平成28年度障害児・者福祉施設信任職員研修	青森中央短期大学	相馬良子・小林光 山口美香
6月22日	平成28年度社会福祉施設職員研修	青森県立保健大学	相馬良子
6月23日～ 6月24日	全国知的障害者関係施設長等会議	パシフィコ横浜	佐藤直幸
7月8日	サンマッシュ 夏期セミナー	岩手県滝沢村 滝沢ふるさと交流館	植田善久
7月29日	2016年度安全衛生大会	ラ・プラス青い森	三上拓雄 相馬良子
8月18日	「はじめての簿記」講座	アイーナ岩手県民交流センター	相馬良子
9月13日	平成28年度社会福祉施設看護職員研修	青森県立保健大学 講堂	木田繁子
9月15日	障がい者就労支援事業所(株)実 見学研修会	障がい者支援事業所(株)実	佐藤直幸
9月16日	ひろさき自閉症スペクトラム支援ネットワーク 勉強会	弘前総合学習センター	中平恵美・植田善久 竹内友紀
9月27日	平成28年度福祉サービス苦情解決関係者等研修会	リンクモア平安各 市民ホール	中平恵美
10月5日～ 10月6日	相談支援従事者初任者研修 講義部分	県民福祉プラザ	佐藤直幸
10月21日	弘前自閉症スペクトラム支援ネットワーク 10周年記念講演会	弘前文化センター	佐藤直幸・中畑幸
11月30日～ 12月1日	平成28年度 青森県知的障害者福祉協会 職員・利用者研修会	八戸プラザホテル	植田善久
12月3日～ 12月4日	平成28年度 青森県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者研修	青森県立保健大学	中平恵美（就労） 植田善久（地域生活）
12月15日～ 12月16日	平成28年度強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	青森県庁西棟	佐藤直幸・植田善久
10月1日	青森県障害者就労継続支援事業所経営力向上委員会	県民福祉プラザ	植田善久
1月27日	ひろさき自閉症スペクトラム支援ネットワーク 勉強会	弘前総合学習センター	佐藤直幸・植田善久 中畑幸
2月14日	第10回セーフティーネットフォーラム 精神疾患を伴う多問題困難ケースのアプローチについて	青森県立保健大学	中畑幸

〈VI〉 苦情解決

(1) 施設担当職員

苦情解決責任者 施設長 佐藤直幸
苦情受付担当者 支援課長 中平恵美

(2) 第三者委員

ひろさき地域福祉ネットワーク・オンブズマン委員会（ひろネット）
訪問委員 村上栄子、工藤昌子 （2名）

(3) 訪問記録

訪問日	委員名	状況と問題点
4 / 1 8	村上、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
5 / 2 3	村上、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
6 / 2 0	村上、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
7 / 1 1	村上、工藤	3名の利用者と面談 特に問題なし
8 / 8	村上、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
9 / 1 2	村上、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
10 / 1 7	村上、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
11 / 2 1	村上、工藤	3名の利用者と面談 特に問題なし
12 / 1 9	村上、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
2 / 1	村上、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
2 / 2 1	村上、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
3 / 2 1	村上、工藤	3名の利用者と面談 特に問題なし

〈Ⅶ〉 地域生活支援

(1) グループホームあやめ

- ①住居 定員6名、現員6名（平成29年3月31日現在）
利用者内訳 （就労継続支援B型5名、生活介護1名）
（区分2：3名 区分3：1名 区分4：1名 区分5：1名）

- ②食事 メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作っている。
健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫している。

③地域との関わり

町内の行事であるねぶた祭り、宵宮等に参加している。
温泉地であり公衆浴場を利用して住民との会話が増えている。

④内容及び次年度への課題

世話人が研修に参加して、より質の高い支援を求めていく。
バックアップ施設としても訪問回数を増やして入居者の現状を把握して、何でも相談しあえる環境を作っていきたい。
利用を希望する人が増えてきているため、それに答えることが出来るようにしていきたい。

(2) グループホームつつじ

- ①住居 定員6名、現員6名（平成29年3月31日現在）
利用者内訳 （就労継続支援B型2名、生活介護3名）
（区分2：2名、区分3：1名、区分4：1名）

- ②食事 メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作っている。
健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫している。

③内容及び次年度への課題

世話人が研修に参加して、より質の高い支援を求めていく。
利用者の生活の安定をはかり、住みやすい環境を作っていく。

VIII) 外商

担当：鎌田健司

今年度から「がんばろう障害者元気ショップ事業」から「津軽地区就労支援継続支援事業所共同受注窓口」へと名称が変わっている。県からの助成金を活用し販売用車両を購入し、各施設の商品の集配・販売・展示・配布を行っている。

新たな取り組みとして、近隣の施設や各参画施設との協力体制を取り、「ノウクマルシェ」を実施している。しかし、準備期間の設定や連絡調整など、次年度へ多くの課題が残る形となった。

昨年よりイベントへ参加する機会が多く設けたが、工賃へ反映されるまでは至らず、年間売り上げについては、各参画施設で取り扱い商品の製造中止などがあり、それに伴い取引先数の減少へと繋がっている。現存の取引先も納品回数の減少もあり、それを補う新たな取引先の確立が出来ず、昨年度より下がっている。

(1) 参画施設及び年間売上

ワークキャンパス大鱈	2, 822, 720円
ワークショップ大鱈	441, 530円
エイブル	169, 220円
ワークランド茜	53, 500円
就労サポートひろさき	39, 500円
ないすらいふ	12, 500円
せせらぎの園	9, 440円
サポートセンターさくら	1, 600円
月見野園	0円
月見野食房	0円
夢工房月見野	0円
いわきの里	0円
玄輝門	0円
MEGO	0円
青松園	0円
ワークセンターつばき	0円
つがる野工房	0円
ワークセンターのれぞれ	0円
合計	3, 330, 010円

(2) 参加（実施）イベント

4月 9日	春の鰯 comeまつり
4月10日	おおわに地産品市
5月21日～ 5月25日	大鰯温泉つつじまつり
6月 4日～ 5日	まるごと大鰯商人市
7月30日～ 31日	夏の鰯 comeまつり
10月 9日～ 10日	ノウフクマルシェ in さくら野
10月15日	ふれあい広場
10月22日～23日	ケッパレ東北復興支援フェア(商人市同時開催)
11月15日	青森県社会福祉大会
11月19日	アップルフェア(鰯 come)
11月20日	まるごと大鰯商人市
11月24日	大鰯町社会福祉大会
12月 4日	全日本シニア大鰯大会(鰯 come)

※イベント参加回数 13回 延参加日数 21日間

(3) 次年度への課題

各参画施設の連携強化と販売計画の再構築が必要であり、イベント等で取り扱う商品集荷もこれまで以上に増やしていきたい。それに伴い、商品の PR・展示・販売の方法も改善が必要となる。

販路拡大・製品紹介については県からの助言を踏まえて方向性を確立していきたい。また、参画施設間の流通や情報交換も積極的に行われるように促していく必要がある。

〈IX〉 安全巡視（虐待防止委員会）

担当：佐藤直幸

（1）安全巡視実施日

実施日	担当者	実施内容
7 / 5	中平恵美・山内彩子	法人事業所全部を訪問し 注意箇所を点検、事業会 議で報告し検討する。
9 / 28	山中司・竹内友紀	
1 / 16	植田善久・中嶋綾子	
3 / 28	中畑幸・幸山稚子	

今年度は3ヶ月に1回、キャンパス・ショップより各1名ずつ選出し実施した。前年度より改善箇所が少なくなっており、環境の整備がはかられてきたように感じる。

引き続き環境の整備の確認をしていきたいと思う。

（2）虐待防止委員会実施日

期間	実施日	担当者	実施内容
4月～6月	7 / 9	中平恵美・山内彩子	全職員の虐待防止チェック リストを集計し虐待防止委 員会を実施。結果を事業会 議で報告、問題点等を周知。
7月～9月	2 / 14	山中司・竹内友紀	
10月～12月	2 / 14	植田善久・中嶋綾子	
1月～3月	4 / 18	中畑幸・幸山稚子	

安全巡視を実施中、法人職員の利用者処遇を確認気づいた部分を報告、チェックリストを活用し現在どのような推移をたどっているかを様子観察した。年度当初に実施した時より虐待注意項目が大幅に減少、法人職員に周知されてきたように感じる。今年度の問題点として、チェックリスト事態がセルフチェック用になっている為、どのような問題点があるのか具体的内容を確認するため、平成29年度より様式を変更して実施したいと思う。